



BE THE INSPIRATION

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリー会長 バリー・ラシン 「BE THE INSPIRATION—インスピレーションになろう」
 2018-19年度 第2570地区ガバナー 茂木 正 「想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する」
 2018-19年度 志木RC会長 林 康雄 「凛として挑む 一朵の目的を目指し」

第2279回 例会

2019-5-15

- ◎司会 高橋健一郎 副会長
 ◎点鐘 林 康雄 会長
 ◎ソング 君が代・奉仕の理想
 ◎ソングリーダー 内山雄二郎 会員
 ◎四つのテスト 内山雄二郎 会員
 ◎ビジター 森田輝雄様
 (ガバナー補佐・新座 RC)
 深澤好文様(志木柳瀬川 RC 会長)
 荻野光一様(" 幹事)

ロータリークラブは、合併し新生志木ロータリークラブとなる予定です。本年度クラブの会長職にある私は、今まであまり考えた事なかったクラブの合併について、調べる機会を得ました。

国際ロータリーの理事会は、RIのすべての加盟クラブが確実に機能するように配慮する責任があり、クラブの基準を「ロータリー章典」で定義しています。会員数の減少やその他の要因により最低限の基準を満たすことが困難になっているロータリークラブは、同じ地区内の一つまたは複数のクラブと合併を検討できるとされています。そして、会員数20名未満の近隣クラブは、合併することが奨励されています。

調べてみると、ライオンズクラブにも、「クラブ合併の進め方について」なる記述があります。会員数の少ない新クラブが、適正な会員数に近づけることができず、少数会員のためクラブ運営に困難をきたしているところが増えつつある。その対策として、クラブ間の合併により、クラブ運営の活性化を図ることが重視され、ライオンズクラブ必携には、国際本部作成の「クラブ合併の手順」が掲載されています。

ロータリークラブの合併に関しては、賛否両論様々な意見が過去の『ロータリーの友』に掲載されていました。それによると、「ロータリークラブは、個人レベルでの奉仕活動を支援する組織であり、組織として奉仕活動を

「会長挨拶」

会長 林 康雄



平成の終わりから令和元年にかけて様々のことがありました。志木ロータリークラブにとっては大変残念なことですが、4月28日に山口幸造パスト会長がお亡くなりになりました。山口パスト会長の今日までの志木ロータリークラブでの功績を称え、安らかに永眠されることを祈り、ここで黙祷いたします。

* * *

さて、志木ロータリークラブと志木柳瀬川

行う他の奉仕団体とは異なる。やみくもに生き残りを掲げる企業などの合併論と同じ次元での論理では、ロータリーの神髄である個人レベルの奉仕の実践を阻害することになるのではないか。」という否定的な意見がありました。一方、「活気ある活動を維持するためには、一定数以上の会員の確保が必要条件となる。会員数が少なく、効率の悪いクラブがいくつも存在するよりは、まとまった会員数を確保して高機能を発揮するため、合併という手段が最善の選択である。」との肯定的な意見もありました。更に、「ロータリーの精神は、地域と時代を超えた普遍的な価値である。多くの人が自分の利益を追求する時代にあって、ロータリーは普遍的精神価値を追求する名士の集まりであるとして、尊敬と憧れの対象であって欲しい。クラブの会員減少でクラブ活動が存続できなくなった場合は、無理な会員増強よりも合併によって存続し、クラブの価値を高める努力をする方が、長期的には良い結果を生むのではないか。」という意見などが掲載されていました。

第 2570 地区で初めての合併は、2008 年 3 月 24 日に川越南 RC と川越東 RC の合併です。両クラブの合併により川越小江戸 RC が誕生しています。会員数は合併当時 29 名でしたが、その後一時は 10 名まで減少、現在は 15 名の会員数まで回復しています。今回志木 RC と志木柳瀬川 RC の合併が実現すると、地区内では 2 例目の合併となるはずですが、両クラブの合併の良し悪しが問われるとすれば、5 年後 10 年後の志木 RC の姿にかかっているであろうと思います。

「幹事報告」

幹事 市之瀬正靖

1. RI 日本事務局より 5 月のロータリーレポート受信 1 ドル=112 円(参考:4 月=110 円)
2. 朝霞キャロット RC より第 2 グループ新旧会長・幹事会開催のお知らせ受信



日時：2019 年 5 月 20 日(月) 18:00

場所：ベルセゾン『吉祥』

3. ハイライトよねやま 230 号★2019.5.13 発行

4. ロータリーの友事務所より『私の宝物』欄への投稿の願い受信

5. (公財)埼玉県腎・アイバンク協会より第 30 回総会の案内受信

日時：6 月 8 日(土) 14:00~16:00

場所：埼玉県県民健康センター1F

大会議室 C

6. 志木市青少年育成市民会議より令和元年同市民会議総会の開催について受信

日時：5 月 24 日(金) 10:00~

場所：志木市民会館 103・104 室

7. 第 29 回志木市商工会東日本大震災・熊本地震復興支援チャリティゴルフ大会の開催について受信

日時：6 月 3 日(月) スタート午前 7:16

場所：ノーザン CC 錦ヶ原ゴルフ場

「御 礼」 ガバナー補佐 森田輝雄様(新座RC)



ガバナー補佐 森田輝雄様より一年間の御礼

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- | | |
|-----------|------------------|
| 1 真実か どうか | 3 好意と友情を深めるか |
| 2 みんなに公平か | 4 みんなのためになるか どうか |

「ご挨拶」 志木柳瀬川 RC 会長 深澤好文様



深澤好文会長、荻野光一幹事

されました。宝幢寺で見ていただいたものよりも、格段に良くなっておりますので、ぜひご確認ください。

また、検索順位が上位に来るように、みなさまのご協力をお願いいたします。

●次年度幹事 次年度幹事 三上隆俊



「ご夫人とご家族への感謝の日」

親睦活動委員会 副委員長 小林八郎

いつもロータリー活動にご協力いただいているご夫人とご家族へ感謝の印を贈ります。

13日 清水 京子様 19日 高橋 育美様



「年度計画書」原稿提出のお願い

次年度の「年度計画書」に掲載する各委員会事業計画書の提出をお願いいたします。

提出期限：5月31日(金) 期限厳守

「『ロータリーの友』記事紹介」

雑誌委員会 委員 吉田靖夫



「委員会報告」

●公共イメージ委員会 委員長 上野剛彦



志木 RC ホームページ公開

志木 RC のホームページが 5月1日に公開

『ロータリーの友』5月号記事紹介

縦組 P23 ロータリーアットワーク

ロータリーの創成期を市民劇団が公演 (第2570地区第3グループ)

今年度の IM で「日本ロータリー100年を機に創成期のロータリーを学ぶ」ロータリーの誕生から発展、米山梅吉とポール・ハリスの出会いを、地元市民劇団の協力を得て演じ、ロータリーの原点を知り、活動に弾みをつける機会となったと紹介されている。

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

- 朝霞 RC (火) 12:30~13:30 埼玉りそな銀行朝霞支店
- 富士見 RC (金) 12:30~13:30 島田ビル1F

第2グループ各RC 例会日・会場一覧
事務局 048-466-3770
事務局 049-251-6596

「卓 話」

「川とまちをきれいにする運動の経緯」

R 情報委員会 委員長 尾崎征男

志木 RC 看板事業の発足から今日までの足跡を尋ねてみましょう。クラブの誕生は昭和47年1月17日創立。2月2日国際RC加盟承認を受け誕生したものです。当時日本の国は田中角栄総理大臣の打ち出した「日本列島改造論」が示す通り不動産ブームに沸き上がり、国民皆不動産屋と揶揄されておりました。不動産情勢は日に日に坪単価はアレヨ、アレヨと沸騰して、低地の開発は勿論の事、荒地は一夜にして住宅地と化し行政の上下水道設備は追いつかないのが実情で有った。下水については特に各家庭では宅地の一角に穴を掘り汚水を流し込み瞬間に地下水は汚染されていきました。当然、地価の上昇し東上線沿線を見たとき富士見・川越・小川町へと都心より離れ、住宅、工場の建設は北上。よって、工場、家庭雑排水は地下を汚染しながら川に放流され、流れは一変。子供の頃、魚とりに水遊びに、良き思い出の川が日に日に悪臭を放す川に変貌するのに驚き憂い、この看板事業を考案したものと考えられます。

クラブ誕生の会員 35 名中 いろは橋付近の川に楽しい思い出の有ると思える会員を調べてみました。

氏名・出生・創立当時の年齢

初代会長	三上吉之助	明治35年	71才
	岩下英隆	明治41年	65才
3代会長	神山秀三郎	大正4年	57才
2代会長	内田 敬八	明治34年	72才
	厚川 岩男	?	?
5代会長	井下田慶一郎	大正8年	53才
13代会長	三上恵三郎	昭和8年	39才
	細田 早苗	?	?
	原 昭二	昭和2年	45才



初代三上会長は、或る日いろは橋より川面を見てみると、何と流くるゴミの上を、猫がピョンピョンと乗り越え対岸に渡ったと話しておりました。この光景が初めの挿絵となっているのです。

この川は、川越と江戸を結ぶ経済発展の動力源となる「新河岸川の舟運」を生み多くの荷物を運ぶ一方、江戸文化を伝える重要な川で「母なる川」とも呼ばれておりました。



新ふるさと写真集(志木市制 40 周年誌より)

昭和 47 年 6 月日本列島改造論により東上沿線では安価の土地をもとめ住宅建設は北上、よって新河岸川は悪水とゴミ捨て場と化した。流れ着くいろは橋水門付近はゴミの山と化した。



新河岸川の流れをゴミは覆う



(昭和 47 年 6 月 20 日尾崎撮影)

子供の頃の思い出の川の流れを取り戻そうと、ロータリアンたちは立ち上がったものでしょう。この運動の成功の一つにはメンバーはそれぞれ地域の重要な立場の人で有る事から、活動の組織づくりに力を入れ、今では考えられない組織が出来ております。(※表 1)

岩下英隆会員の力に負おうところ大であったと聞きましたが、時の畑知事が作業に参加により第一回清掃作業は参加者 444 名(県職員 10 名)大成功里にスタートを切りました。



昭和 47 年 12 月 20 日
背景に志木市役所・作業中の畑知事と上甲婦人会会長

その後の活動は表に纏めましたので、それを基に説明しましょう。(※表 2)

組 織

(平成 18 年 4 月現在) (※表 1)

会 長	歴代 志木ロータリークラブ代表 がその任に当たっている
顧 問	志木市長
相 談 役	志木市議会議長
副 会 長	商工会代表、連合婦人会会長、老人クラブ連合会会長、 町内会連合会会長、コミュニティ協議会会長、
会 計	志木ロータリークラブ代表
監 事	志木ロータリークラブ代表 連合婦人会副会長
常任 理事 及び 理事	志木ロータリークラブ代表、志木柳瀬川ロータリークラブ代表 各町内会長、各婦人会長、志木ライオンズクラブ代表他 各種団体の代表者

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

第2グループ各RC 例会日・会場一覧

- 朝霞キャロット RC (月) 19:00~20:00 シティ・イン北朝霞 3階ホール 事務局 048-470-6811
- 志木柳瀬川 RC (木) 19:00~20:00 ふれあいプラザ会議室(丸井8F) 事務局 080-8914-2008

志木市川と街をきれいにする運動協議会活動記録

(※表2)

創立より平成20年4月まで詳細に調べたもの

年 度	内 容
昭和47年 7月	「川をきれいにする運動推進協議会」結成大会 志木ロータリークラブ 三上吉之助氏 初代会長に就任
昭和48年 3月	シラコバト賞受賞 (埼玉県)
昭和50年 6月	埼玉県知事表彰受賞 (埼玉県)
昭和55年12月	国際ロータリークラブ 意義ある業績賞受賞
昭和56年10月	創立10周年記念式典開催
昭和61年10月	環境庁水質保全局長表彰受賞 (国)
昭和62年 5月	志木ロータリークラブ 中川博和氏 2代目会長に就任
昭和63年 6月	<u>川と街をきれいにする運動推進協議会に名称変更</u>
平成 3年 6月	環境庁長官賞受賞 (国)
平成 4年 5月	志木ロータリークラブ 尾崎征男氏 3代目会長に就任
平成 4年10月	<u>学校5日制に伴い子供たちに参加を呼びかけ5月第二土曜日を活動日と定めた。</u> <u>10月は第四日曜日と定めた。活動日の指定とともに清掃活動を「親と子の市内まるごとクリーン作戦」と命名、</u> <u>河川敷から通学路、町内清掃と活動範囲を広げる。(参加者 春2500名 秋428名 合計2928名)</u>
平成 5年 6月	社団法人日本河川協会より河川功労者表彰受賞 (社団法人)
平成 5年 6月	志木市が「環境教育推進モデル市」の指定を受ける(平成5年～6年度)
平成 7年 2月	尾崎征男会長がさいたま地球環境賞受賞 (埼玉県)
平成 7年10月	<u>清掃範囲に柳瀬川を含める活動と拡大、秋の活動より実施</u>
平成 8年 2月	河川愛護ネットワーク交流会にて活動事例発表 (さいたま共済会館)
平成 9年 4月	「みどり愛護」功労者建設大臣表彰受賞 (国)
平成 9年 5月	「新河岸川フォーラム`97」出品展示(川越市古市場) 創立25周年記念式典開催 席上出席者総意により、この活動を「志木市環境デー」として志木市に提案した。
平成10年 2月	川端会議(河川愛護ネットワーク主催) 出品展示
平成10年 5月	<u>いろは橋・袂に志木ロータリークラブ寄贈 「大型広告塔」看板完成設置</u>
平成10年 6月	尾崎征男会長が「環境の日」地球美化功労者賞表彰受賞 (国)
平成10年10月	柳瀬川富士見橋袂に(財団法人)河川管理財団の補助により広告看板設置

	川・街エクスプレス(創刊号)発刊 発行日 (春・秋号)
平成 11 年 3 月	「志木市環境デー」の制定 (5月の第二土曜日と10月第四日曜日)
平成 11 年 11 月	尾崎征男会長がテレビ埼玉地球環境賞受賞
平成 14 年 12 月	環境美化実践優良市民団体・(社)食品容器環境美化協会から会長賞受賞
平成 15 年 12 月	志木ロータリークラブ 浪川満太郎氏 シラコバト賞受賞 (埼玉県)
平成 16 年 10 月	10月の第四日曜日を埼玉国体に合わせ第三日曜日変更実施、参加者に茹でジャガイモ 2000 個配布 (ジャガイモ大村商事の寄付に依るもの) ◎ この年の参加者 春 3164 名 秋 2092 名 合計 5256 名(参加者最高を記録)
平成 17 年 10 月	「彩の国ふるさとの川再生県民の集い・主催 埼玉県」に参加、パネル展示とパネラーとして尾崎会長参加
平成 17 年 11 月	「荒川河川敷不法投棄物一斉撤去クリーン作戦」に賛同、初参加(350 名)
平成 18 年 11 月	「荒川河川敷不法投棄物一斉撤去クリーン作戦」に正式事業として取組、参加(371 名)
平成 19 年 7 月	創立 35 周年記念式典 記念事業『志木の名所づくり』白色彼岸花・球根 3500 球植え付ける
平成 20 年 5 月	志木ロータリークラブ 神山昌之氏 4 代目会長に就任
平成 28 年 5 月	志木ロータリークラブ 星野博之氏 5 代目会長に就任

表の中には表わせませんでした。トピックスとして記録に留めたいことも有りました。

- ①清掃作業中 川べりから流れの中に落ちた御夫人がおりましたが幸いにしてけがが無く安堵したことが有りました
- ②不法投棄された車のタイヤの中より大きなウナギが上がり職員の胃袋の中へ?
- ③志木大橋付近の流れの中から 20kg 金庫を発見、中に 35 万余円の現金を発見警察に連絡の結果、さいたま市内の焼肉店が盗難にあった金庫で感謝状を戴いた事が有りました



最後に

志木クラブと歩んだこの 48 年。今後、川まちの運動の変化はどのように変わっていくのか期待する一方、平成 10 年(志村会長年度)にステンレス製看板を設置、少し「よごれ・サビ」が目立つ様になった。この看板を見るに付け、この運動も少しサビ始めたのか心配である。現会長の手腕に期待すると同時に、クラブも 2 年後、創立 50 周年を迎える、これまで

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1 真実か どうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるか どうか

皆様と3回に亘る50周年事業を考えるワークショップを開いてきたが、いまだ手さぐり状態が続いています。この運動を振り返るとき先人達の偉大な手腕とアイデアに敬意を表し、本日の卓話と致します。

永続は力なり

終り

●出席報告 出席向上 委員 神山昌之

会員数43名 出席義務者35名 免除者8名

本日出席	本日欠席	本日出席率
35名	4名	92.11%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(6名中4名)	94.74%	94.19%